

中学生及び保護者のみなさんへ

不適切な投稿の危険

SNSなどのインターネット上のサービスに、不適切な内容のものが投稿され、問題となることがあります。

不適切な投稿の例

- ・電車の線路内に進入した様子を撮影した写真の投稿



- ・けんかをしているところを撮影した動画の投稿




- ・店の中でダンスをしているところを撮影した動画の投稿



不適切な投稿をすると、こんな事態に……



不適切な投稿をすると、投稿を見た人たちから非難のコメントが殺到する「炎上」という状態になります。インターネットには、不適切な投稿をした人をこらしめる目的や、おもしろ半分、投稿者の個人情報を探る人たちがいます。こういう人たちから個人を特定されると、問題の投稿とあわせて、個人情報をインターネット上に拡散されてしまいます。そうすると、自分の名前を検索すればそれらの情報が出てくるようになり、不適切な投稿をしたことによる悪影響を一生受け続けなくてはならなくなります。



インターネット上の投稿や個人情報は一旦拡散されると、すべてを消すことができず、必ず情報が残り続けてしまいます。そのことから、一度体に入ると消すことが難しいタトゥー(入れ墨)に例えて、「デジタルタトゥー」と呼ばれています。

「実生活の中でしてはいけないことは、インターネットの世界でも絶対ダメ。」

また、友だちが不適切な行為をしようとしているときは、絶対に加担せず止め、おもしろがってその様子をインターネットに投稿しないようにしてください。さらにインターネット上で不適切な投稿を見つけても「拡散しない」ようにしましょう。

保護者のみなさんへ

不適切な投稿が個人情報と共に拡散されると、進学や就職にまで悪影響が及ぶ可能性があります。子どもたちが不適切な投稿をしないように、「親に見せられないものは投稿しない」など「各家庭ルール」を作ってください。